

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	塩の道サイクルツーリズム推進事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 ○と編集社 (上伊那郡辰野町辰野 1704)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	919,036 円 (うち支援金: 689,000 円)

事業内容

自転車観光による、広域連携、二次交通対策、観光商品造成による地域収益還元、雇用創出をするために、ブランドづくりを推進。テーマとして地域資源を活用した「塩の道」にフォーカス。

- ①フォーラム : 11/29
- ②走行会 : 11/30

事業効果

(1) 認知度向上・・・信濃毎日新聞、長野日報、市民新聞、中日新聞、三遠南信 Biz、LCV 放送、SBC ラジオ「サイクルライフ」に取り上げて頂きました。辰野町は、積極的にサイクルツーリズムによる地域振興、観光振興に取り組んでいることが PR できました。

(2) 情報収集・・・参加者アンケートにより、ニーズの洗い出しができました。サイクリングツアーでの観光商品造成により、雇用創出、地域収益、認知度アップによる移住促進が期待できることがわかりました。

(3) 地域収益・・・一泊二日での飲食宿泊利益が発生。フォーラム&走行会での参加者のうち、60名前後が宿泊をしました。地域のホテルや飲食業に収益をもたらしました。

(4) シビックプライド醸成：プロモーション効果により、地域住民の方に塩の道の魅力を知ってもらう機会により、地域魅力発見に繋がりました。実際に50名以上のサイクリストが町内を走る姿に驚きの声が上がっていました。

(5) 広域連携：伊那谷観光局、また諏訪圏側のサイクルツーリズムに取り組む市町村行政に広域連携の可能性を感じてもらいました。

(6) 雇用創出：サイクリングガイドを志す地域住民に、ガイドを目指す意義と可能性を感じてもらいました。



①フォーラム : 11/29



②走行会 : 11/30

【目標・ねらい】

- ①認知度向上
- ②情報収集
- ③地域収益
- ④シビックプライド醸成
- ⑤広域連携
- ⑥雇用創出

※自己評価 【A】

【理由】

- ・参加者アンケートの満足度の高さから。
- ・地域内外、業界での評価アップし、情報リーチも伸びたから。
- ・今後につながるチームビルディング、ゆるやかな組織体ができただから。

今後の取り組み

《運営組織》

フォーラムのまとめで話にあがったように、ゆるやかな地域間の連携組織を近々開設する予定です。各地域での取り組みや課題感などの情報を共有し、広域で協力しあえるような会の形のを協議してまいります。

《行政連携》

次のアクションに繋がりました。特に新潟県の県観光誘客課からは、2023年度の中央四県サミットで塩の道サイクルツーリズムに取り組むと言質を頂き、一緒に活動をしていきます。

《民関活動》

2023年に塩の道を利用したサイクリングツアー、イベントを企画します。さらなるプロモーションのための活動をしていきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある